



人権のまど

まちづくり推進課 (内線311)

インターネットと人権の関わりについて考えましょう

7月12日に泉中学校のひびきあい集会で、タレントのスマイリーキクチさんによる『インターネットと人のかかわり～突然、僕は殺人犯にされた～』と題した講演がありました。1999年、スマイリーキクチさんは、インターネットの掲示板に凶悪事件の犯人だというデマ情報を書き込まれ、それをきっかけに、長年にわたり誹謗中傷被害を受けてきました。

講演の中で、摘発された加害者の「自分は悪くない、ネットにだまされた、私は被害者である」という供述を紹介しながら、インターネットの情報をう呑みにするのではなく、正しく疑う必要性を訴えました。また、安易にSNSで写真などをアップロードすることの危険性などについて、実例を交えながら分かりやすく伝えられ、泉中学校の生徒からは「インターネットの怖さをあらためて知った」「ネット情報をすぐに信じないように気を付けたい」などの感想がありました。

インターネットは、もはやなくてはならない便利なツールです。しかし、使い方を間違えると、被害者にも加害者にもなってしまいます。正しい知識を身に付け、適切にインターネットと関わりましょう。



▲生徒にインターネット犯罪の怖さを語り掛けるスマイリーキクチさん



Re Start 再犯防止の情報をお届けします

まちづくり推進課 (内線311)

Vol. 3 中学生保護司 大活躍!!

全ての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人の更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で明るい地域社会を築くための「社会を明るくする運動」。7月はその強調月間でした。

土岐保護区保護司会では、この強調月間に合わせ、平成18年度から市内各中学校の代表を「一日中学生保護司」として委嘱し、保護司の皆さん、市長らと一緒に街頭に立ち、運動への理解を市民の皆さんへ啓発しました。

前年度・本年度はコロナ禍により街頭啓発は中止を余儀なくされてしまいましたが、本年度は各学校で「一日中学生保護司」として活動をしてくださいました。

「一日保護司」のたすきをかけ、職員室で保護司の仕事について先生方へ説明したり、他の生徒たちに向けてあいさつ活動を行ったり、お昼の放送で全校生徒に向けて更生保護や保護司の活動について説明していただきました。

例年とは違う取り組みでしたが、社会を、学校を明るくするため、それぞれの言葉で啓発してくれていました。

こういった取り組みで、犯罪などをしてしまった人たちが社会復帰する仕組みづくりと、社会の構成員として受け入れることの市民理解が促進されることでしょう。



あいさつ活動中、「保護司ってなに？」と聞かれたので、活動について説明しました。

お昼の放送で、更生保護や保護司について説明しました。

